

事業者向けにおける自己評価結果(公表)

公 表 令和2年3月1日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス のこのこプラス美原

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	55.5%	44.5%		利用児童が多い場合は、子ども達に声掛けし、分けてスペースを作るようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	77.8%	22.2%		送迎時に職員が少なくなってしまう場合は、話題等をつくり子ども達が集まるようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33.3%	44.5%	22.2%	・室内はバリアフリー化されている。 ・車いす用のスロープなどがあると良い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	77.8%	22.2%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88.9%	11.1%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	77.8%	22.2%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	22.2%	44.5%	33.3%	第三者機関を把握していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0%			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0%			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	77.8%	11.1%	11.1%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	66.7%	33.3%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88.9%	11.1%		同じプログラム名においてもリアレンジ。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	66.7%	33.3%		季節に合ったイベント等へも参加している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	88.9%	11.1%		

裏面に続く

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	88.9%	11.1%		できる日は毎日行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	33.3%	55.6%	11.1%	・次の日のミーティングで行っている。 ・送迎の職員もいるが待機職員間で出来事や引継ぎ等、話しをすることがある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88.4%	11.1%		提供記録の記入に関して、一度確認をしたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0%			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	66.7%	33.3%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100.0%			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	88.9%	11.1%		・下校時児童に同行してくる先生の場合のみ ・必要に応じノートを活用している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	22.2%	66.7%	11.1%	医療的ケア児は利用していない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	77.8%	22.2%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	77.8%	22.2%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	77.8%	22.2%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	55.6%	11.1%	33.3%	・他事業所との合同レク等を計画している。 ・地域の児童館を利用している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	33.3%	66.7%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	88.9%	11.1%		保護者が働いている家族ではなかなか会えない場合も
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	66.7%	22.2%	11.1%	積極的に機会を設ける等の努力をしている。

次のページに続く

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	88.9%	11.1%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100.0%			保護者の方の状況等確認している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33.3%	44.5%	22.2%	・保護者が働いているため、出席率が低い。 ・父母の会はないと思うが、父母が参加、見学ができる活動はある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100.0%			
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0%			定期的な会報を出している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100.0%			ブログの写真使用等も職員間で確認済み。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100.0%			・夏祭りを開き、チラシを配り招待している。 ・夏祭りを開催し招待している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	88.9%	11.1%		マニュアルあり、研修等でも再確認している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88.9%	11.1%		異常があった場合(見た目でわかる怪我、発作等も含む)すぐ職員間で共有し対応を確認する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100.0%			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	55.5%	44.5%		・保護者からの話しから対応している。 ・アレルギー表を作成し、食事やおやつ時は充分注意して行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	88.9%	11.1%		全事業所(札幌、函館)で共有。

○ この「事業者向けにおける自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。